

1. 調査報告概要表

作成日平成21年12月20日

【評価実施概要】

事業所番号	3471700264
法人名	府中ツキ板 有限会社
事業所名	グループホーム ひまわり
所在地	広島県府中市中須町1412-1 (電話)0847-47-1006
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市口田南4-46-9
訪問調査日	H21.12.16

【情報提供票より】21年12月2日

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年5月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	13 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 13.1

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り
	1階建ての 1階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	名	男性	名	女性	名
要介護1		名	要介護2		名
要介護3		名	要介護4		名
要介護5		名	要支援2		名
年齢	平均	歳	最低	歳	最高
					歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームひまわりは、閑静な住宅街の一角にあり、利便性もある。ホームは、ぬくもりのある木造平屋で、敷地も広く、恵まれた住環境の中で、「人にやさしい」をテーマに管理者を中心として、職員全員で、入居者一人ひとりの生活が、その人らしく過ごせるよう、きめ細かい配慮をしながら、支援されている。玄関前に設置してある長椅子で、地域の方々との会話が、はずみそうな憩いの場となっている。とても地域に密着したホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	市町村との連携を密にして、地域の中のリーダー的なホームとしての役割を担う取り組みをしていく姿勢がある。
重点項目	日頃から、介護サービスの質の確保、更なる向上を目指して、全職員で、話し合っている。自己評価の意義も理解しており実践につなげるために取り組んでいる。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	運営推進会議を時には、予定している年間行事に組み込んで、より多くの家族、地域住民、包括支援センター職員などの参加を目指し、よりホームの理解を深めていただく機会とする。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	スプリンクラーを設置される予定となっている。家族からの苦情は、少なく、満足しているという解答が多く、ホームとの信頼関係がある。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	府中市保健福祉総合センターで、開催される行事に入居者の作品を出品する等して、地域の中にとけ込む取り組みがある。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	玄関に理念が 表示してある。 「礼儀正しく」「言葉遣い」「笑顔」「信頼感」を掲げ個人に合った生活リズムを大切にしている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を共有し、日々、穏やかな生活が、続けられる様、支援している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域にとけ込み、庭の草取り等も、ボランティアの方と一緒に作業したり、又、町内会から要請があれば、積極的に参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎年、自己評価や外部評価を実施することにより、これで、満足することなく、よりよいサービスの提供に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年間行事をする中で、利用者、利用者の家族、地域住民の代表者や地域包括支援センター職員等に要望、助言を聞き、サービスに活かしている。		2ヵ月に一回、開催することにより、理解を深めて頂く機会になる事を期待します。

グループホーム ひまわり

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	月一回は、出向き、要望、助言等を聞く機会を設けている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、「ひまわりだより」を発行し、利用者の暮らしぶり等を伝えている。又、面会時には、必ず情報提供している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置しているが、面会時、直接、話されることが多い。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット毎の職員の異動もなく、極力、利用者にとって、なじみの関係を構築するよう努めている。職員の離職は、少ない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	昨年から、人事評価を実施することにより、スタッフの意識も変わった。月一回、ホーム内研修を行い、スキルアップを目指している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月一回、地域包括ケア会議に参加して、交流している。(地域の特養、居宅、ケアハウス、訪問介護、通所介護、グループホーム)の職員と情報交流している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>新しく入所した方を職員や周りの利用者が、気軽に話しかけ、徐々に馴染める雰囲気がある。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者に、畑作りをしていた人から芋づるの植え方を教えてもらったり、土地の風習等を聞いたり、利用者から、学ぶことも多い。</p>		
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>その方の有する能力に応じ、自立した日常生活を営めるよう支援する。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ミーティングでカンファレンスを開き、現状の把握、課題、問題点、ケアのあり方等、検討している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>サービス計画は、6ヵ月～1年で、見直しをしているが、変化があった場合には、その都度、見直しを行っている。</p>		

グループホーム ひまわり

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助や特別な外出介助(理美容院、誕生日外出等)を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回、かかりつけ医の往診を受けているが、家族の希望で、以前からの馴染みのかかりつけ医による医療を受けられるように支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者や家族の不安は、重度化した場合や終末期のあり方であるとよく周知しているので、家族とよく話し合い、かかりつけ医や看護師の協力を得ながら、全員で、取り組んでいる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人ファイルの管理。利用者、一人ひとりの尊厳を保守し、プライドを傷つけない声かけをしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人が、主体となって、その人らしい過ごし方をしている。ホーム内にトレーニングマシーンが、設置してあり、利用されている。		

グループホーム ひまわり

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	フードケアサービスを利用する事により、利用者との関わりを より多く持つよう心がけている。		利用者と職員が、一緒に食事を味わいながら、食事が楽しいものになるような支援を望みます。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週二回の入浴は、全介助の方も、安心して、ゆったり入浴が、できるよう工夫されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の暮らしを共にする中で、入居者同士、歯磨きをする為に、やさしく手を引いて、誘導されたり、居室で、話をされる方等、和やかな風景が、見られる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員と一緒に買い物に同行したり、天気の良い日には、よく散歩に出かけている。又、演劇鑑賞や花見等、外出支援をされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵は、昼間は、かけられていない。職員は、十分な見守り支援をされている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の防災避難台帳が、作成されていて、年に2回、火災訓練を、されている。夜勤時の火災訓練も行っている。		

グループホーム ひまわり

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	介護日誌、個人ファイルに一人ひとりの栄養摂取量、水分量が、記録され管理されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ゆったりとした設計で、建てられていて、廊下には、座り心地のよい椅子が置かれ、居間の壁には、季節を感じさせる装飾が、施されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人の希望する家財(テレビ、仏壇等)を持ち込んでおり、居室内では、自分の時間が、持てるように配慮している。		